

テーマ

心房細動に対するカテーテルアブレーション治療

心房細動とは？

心房がブルブル震える状態

ところが、このリズムを乱す余計な電気信号が心房のどこから出てしまったり、心臓が本来のタイミングより早く動いてしまったりすることがあります。それがたまに起こるだけなら自然に元に戻りますが、異常な信号が短い間隔で何度も出続けると、心房の中で電気が渦巻くようになり、心房がブルブルと小刻みに震える状態になります。これが「心房細動（しんぼうどう）」です。

心房細動は、最初は発作的に起こりますが、次第に発作の時間が長くなる傾向があります。発作が7日以内に自然におさまるものを「発作性AF」、7日以上続くものを「持続性AF」と呼びます。

Q 心臓のリズムは「電気信号」で決まっている

Q 心房細動のカテーテル治療ってどんなもの？

健康診断の結果や、ふと気づいた身体の変化に、不安を感じることがありませんか。あなたの健康相談室では、身近な症状にまつわる知識や、受診の目安について、わかりやすくお伝えしています。これまでのコラムに加え、今回は新たな話題も取り上げ、皆さまの健康に役立つ情報をまとめて紹介します。

あなたの健康相談室

春の特大号

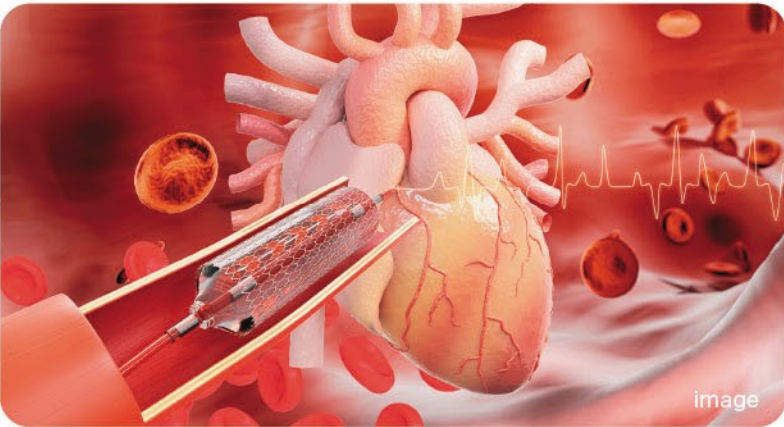


◎プロフィール／神戸大学医学部を卒業後、神戸大学病院や民間病院で20年以上多数の心臓ペースメーカーやカテーテル手術をはじめ、生活習慣病や人工透析にも携わる。2017年より北村内科クリニックを開設し、現在は、専門分野である循環器・呼吸器疾患を中心に、美容医療も手掛け、地域のかかりつけ医として幅広い年齢の患者さまを診療する。

異変を感じたら
早めに医療機関を受診しましょう

北村内科クリニック
院長 北村 秀綱

(一社)日本循環器学会認定 循環器専門医
神戸大学医学博士



原因の多くは

「肺静脈」からの異常信号

心房細動の原因のひとつは、「肺静脈」という血管から出る異常な電気信号です。肺静脈は左心房とつながっていてそこから異常な信号が出ないようにします。

Q カテーテルアブレーション（ABL）とは？

この心房細動を治療する方法のひとつが、「カテーテルアブレーション（ABL）」です。治療では、細い管（カテーテル）を足の付け根などから血管に挿入し、心臓まで運びます。そこで、異常な電気信号が出る部分を、高周波の熱で焼き、信号が出ないようにします。

Q 発作性AFの治療効果について

特に「発作性AF」の場合、ABLによって多くの人の根治が期待できるという報告もあります。最近では、治療の安全性や成功率も年々向上しており、症状のある発作性AFに対しては、有力な治療法のひとつとして選ばれることが増えています。

Q

「更年期」と聞くと女性特有のものというイメージがありますが、男性にも更年期はあるのでしょうか？



A

男性更年期障害は、加齢による男性ホルモンの低下やホルモンバランスの乱れによって生じ、精神面や身体面、性機能にさまざまな症状が現れる病気です。

男性にも更年期がある？

テーマ

男性更年期障害

す。日本では約600万人（※）の男性が該当するとされています。

女性の場合、閉経前後に女性ホルモンが急激に減少し、次第に症状が治まりますが、男性は20代をピークにホルモンが緩やかに減少し、その度合いには個人差があります。そのため、年齢を問わず発症する可能性があります。80代や90代になっても更年期症状が現れることがあります。また、近年の研究では、加齢だけでなく、肥満や強いストレスがホルモンの減少を加速させることが分かっています。

男性ホルモンの減少は、抑うつ気分や

Q

季節の変わり目や風邪を引いた後、咳が長く続く困っています。今後、どう対策すればよいのでしょうか？

A

季節の変わり目や風邪のあと、咳が長く続くことがあります。胸部レントゲンで異常がない3週間以上続く咳の原因として、気管支喘息・咳喘息（以下、喘息）、胃食道逆流症、アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎、感染後の遷延性咳嗽、アトピー咳嗽、喉頭アレルギーなどが考えられます。なかでも喘息は最も多い原因とされ、診断が難しいことがあります。

喘息は気道の慢性炎症によって、咳や気道の狭窄が起こる病気です。炎症が続くと一酸化窒素（NO）が多く生産さ



一酸化窒素呼吸分析装置

咳が3週間以上続く方へ

テーマ

長引く咳と喘息

れ、呼吸中のNO濃度が上昇します。近年、呼吸NO検査が開発され、非侵襲的に炎症の状態を把握できるようになり

ました。これにより、喘息の診断や炎症の程度に応じた治療がしやすくなっています。

気道の炎症を抑えるために吸入ステロイドを使用すると、呼吸NOが減少し、症状も改善していきます。ただし、症状が落ち着いたからといって自己判断で中断すると、再発を繰り返し、気道が厚く硬くなる（リモデリング）ことで慢性的に狭くなり、重症化することがあります。そのため、症状がなくなっても一定期間（1～1年）の治療継続が推奨されます。

咳の原因は複数重なっていることも多いため、適切な診断が大切です。症状だけで判断するのではなく、検査を活用した診断が必要な場合もあります。長引く咳でお困りの際は、専門医への相談をおすすめします。

Q

心電図検査で期外収縮を指摘されましたが、特に症状がないので放置しても大丈夫ですか？

A

健康な人の心臓は、規則正しく1分間に60～100回のペースで拍動を繰り返しています。このリズムを洞調律と呼びます。洞調律は、心臓の右心房にある「洞結節」という部分が発生させる電気信号によって作られ、その信号を心室筋が受けて拍動が生まれます。

一方、期外収縮は、通常のリズムに突然割り込んで、洞結節以外の部分から早めの電気信号が発生する現象です。信号が心房から起きる場合を「上室性期外収縮」、心室からの場合を「心室性期外収縮」といいます。

期外収縮は、健康な人でも自分では気づかないうちに起こることが多く、ほとんどの場合は特に心配ありません。しかし、無症状でも頻繁に起きる場合や、ドキドキする、脈が飛ぶ感じ、胸の痛みや圧迫感、倦怠感、めまい、ふらつき、失神といった症状が出ると、治療が必要になることもあります。治療方法には、薬物療法やカテーテルアブレーション（カテーテルを使った治療）があります。

特に心室性期外収縮は、心筋梗塞や心筋症などが原因の場合があり、危険な不

脈の異常を見逃さないで

テーマ

不整脈（期外収縮）

整脈を引き起こして突然死につながることもあります。一方で、上室性期外収縮であっても、発作頻度が多い場合や連続して起こる場合は、心房細動へ進展し、脳梗塞のリスクが高まる場合があります。

期外収縮には、症状が出ていない軽度のものから、重症化する場合まで様々な種類があります。検診で指摘された場合は、少しでも異常を感じたら早めに受診することが大切です。

